

平成 27 年度第 9 回教育研究評議会議事要録

日 時：平成 28 年 1 月 14 日（木）15:00～15:55

場 所：事務局第 1 会議室

出席者：山口学長、佐藤理事、齊藤理事、小見理事、吉澤理事、中林副学長、吉田副学長、伊藤副学長、川又副学長、市橋人文社会科学研究科長、高木教養学部長、薄井経済学部長、細渕教育学部長、坂井理工学研究科長、鈴木理学部長、重原工学部長、柳澤評議員（人文社会科学研究科）、薄井評議員（教育学部）、堀尾評議員（理工学研究科）

同 席：佐藤監事、尾崎監事

【審議事項】

1. 第 3 期中期目標原案・中期計画案について

山崎評価・企画係長から、配付資料 1 に基づき、第 3 期中期目標原案・中期計画案について説明があり、1 月 15 日（金）に暫定版を文部科学省に提出し、1 月 21 日（木）の経営協議会の議を経て、役員会で決定した後、1 月 22 日（金）に正式版を文部科学省に再度提出する旨補足があった。

次いで、学長から、「第 3 期中期目標・中期計画（素案）に対する措置への対応状況」について、部局等からの修正意見及び作成担当者による調整箇所について説明があり、審議の結果、以下のとおり修正することとした上で、第 3 期中期目標原案・中期計画案について、了承された。

・計画【1-3】中

（修正前）「また、社会人の大学院進学に繋がるノンディグリープログラムの拡充
社会人の大学院教育など、社会人の学び直しの間を整備する。」

（修正後）「また、社会人の大学院進学に繋がるノンディグリープログラムの拡充
など、社会人の学び直しの間を整備する。」

・計画【3-1】中

（修正前）「文理融合の教育課程を具現化するため、教養学部・経済学部・人文社会科学研究科及び理学部・工学部・理工学研究科とが連携した教育を実施するなど、学部・研究科を横断して文理融合教育を支援する組織を設けるなど、全学的な教員間の協働体制を整備する。」

（修正後）「文理融合の教育課程を具現化するため、教養学部・経済学部・人文社会科学研究科及び理学部・工学部・理工学研究科とが連携した教育を実施するなど、全学的な教員間の協働体制を整備する。」

・計画【5-1】中

(修正前) 「学生の入口から出口入学から卒業・修了までを総合的に支援する統合キャリアセンターSU(仮称)を設置し、教育課程の体系化、教育方法、教育の質保証等について、計画から実施、点検・評価、改善までの一連のPDCAサイクル機能である教学マネジメントシステムを、~~教育企画室において構築する。~~」

(修正後) 「教育課程の体系化、教育方法、教育の質保証等について、計画から実施、点検・評価、改善までの一連のPDCAサイクル機能である教学マネジメントシステムを、教育企画室において構築する。」

・計画【29-2】中

(修正前) 「女性教員の採用比率を全学で30%以上に~~人文社会系部局においては40%、自然科学系部局においては20%以上に~~、また、女性事務職員の新規採用比率を50%とする。」

(修正後) 「女性教員の採用比率を人文社会系部局においては40%、教員教養系部局においては30%、自然科学系部局においては20%以上に、また、女性事務職員の新規採用比率を50%とする。」

2. 平成28年度予算編成方針(案)について

小見理事から、配付資料2に基づき、平成28年度予算編成方針(案)について説明があり、審議の結果、了承された。

<次回日程>

1月28日(木) 15:00~